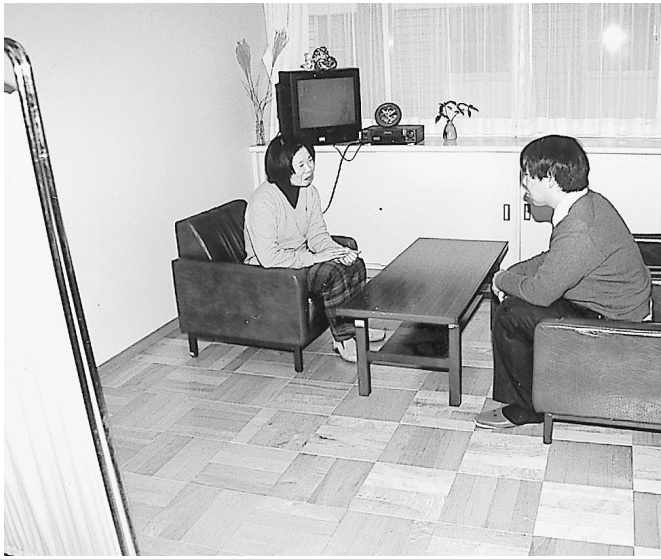


ALDHD児 教育環境の整備を

民主市民連合 高谷 議員

議員 読み書き・計算等に困難があるLD(学習障害)といふ、不注意な過剰をする等のADHD(注意欠陥・多動性障害)は、治療法や教育方法が全く違う。だが、日本ではいまだ混同した解釈があり、そのことが、今日のLD児やADHD児への教育に「ズレ」を生じさせているものと私は考える。本市ではLDの児童生徒に対し、8、9年度に国の地域指定を受け、学習障害が児等指導相談事業を展開し、先駆的に取り組んでいる。①昭島

一般質問



スクールカウンセラーの役割は大きい ……市内中学校

介護保険料の減免の実現を

民主市民連合 嶋崎 議員

議員 ①介護保険制度は、低所得者には保険料と利用料の負担は重く、冷たい制度だ。問題点を聞く②介護保険事業計画の次期見直しは中心は介護報酬と介護保険料である。③市の見直し内容の非課税者及び非課税世帯への訪問介護サービス等の利用料減免制度の継続への考え④介護保険料減免措置をとる自治体も多い。低所得者への配慮は事業計画の見直しには不可欠だ。いわゆる「流山方式」しかないと考え。考えを伺う④市内にはない療養型病床群の見直しを聞く⑤ケアマネジャーに、⑥の本来業務に向けた改善点の訪問介護の見直し⑦を伺う⑧痴ほう症高齢者への改善点を聞く⑨ホームヘルパーは報酬も身分保障も低い。典型例が登録ヘルパーだ。国は登録ヘルパー制度の廃止、労働条件の改善策を行うべきだ。市の対応を聞く⑩要介護認定時のコンピュータ判定を補完する介護

よりよい明日の三鷹を構築せよ

政新クラブ 加藤 議員

議員 ①市民、企業、行政の連携、協働で美しいまち三鷹を創っていくべきだ。環境問題では、「花と緑に囲まれたガーデンシティ」の構築による二酸化炭素削減施策の推進は不可欠である。たばこのポイ捨て禁止条例を持つ市区も出て

市では、全教職員に「Q&A」LD児の理解と指導」を配付した。LD児への共通理解に有効である。LD児には、常に最新の指導方法と、教職員はもとより保護者や地域住民の理解が必要だ。本市の市民への周知を徹底させよ②LD児への理解が進めば、ADHD児の進めも認識できる。ADHD児は学校生活になじまず、不登校等になる場合があり、思春期前の早期発見、対策が重要である。そして、今必要なのは、子どもたちがお互いを理解できる教育環境であり、市の一層の取り組みが必要だ。③本市の教職員は、LDとADHDの

道路通行の安全と自転車対策を

政新クラブ 島田 議員

議員 近年、自転車は、環境に優しい交通手段として、その利用が進んでいる。一方、歩行者にとって自転車との関係で危険を感じる場面も多いのではないかと考える。①三鷹市内での自転車と関係した人身事故の発生件数を示せ②市内には、自転車と歩行者との間で特に危険性の高い道路がある。都道などの幹線道路では、歩道の自転車通行が可という部分があり、そこでは歩行者と自転車の通行区分もない。天文台通りの西野から人見街道に交差するまでの間などは、まさにその例である。また、かえり通りは歩道が非常に狭い。こうした危険な歩道の把握のための点検や改善などについて、市の対応を問う③今日、自転車通行の状況を見ると、猛スピードでの走行や夜間の無灯火、2人乗りなど目につくものがある。自転車も当然、道路交通法の適用を受ける。自転車を含む道路の安全には道路整備や安全教育も必要であるが、

電子 市民に質の高いサービスを自治体

政新クラブ 空戸 議員

議員 「2005年に世界最先端のIT国家となることを目標に、国は、平成13年に「e-Japan戦略」を策定した。「IT基本法」の制定、各省庁間をLAN接続した「霞ヶ関WAN」と、地方自治体と結ぶ総合行政ネットワークの構築、14年8月の「住基ネット」の稼働など、電子政府・電子自治体の構築に向け、国や自治体ちに規範意識、道徳意識等を伝える仕組みづくりが大切だ。市内の小学校など三鷹市民連合会と連携している例もあると聞く。地域の高齢者等との連携、協力の考えを聞く⑥環境・緑・防災等を含めて市内の農地の果たす役割は大きい。農地保全策に関し、今後の考えを伺う⑦美しいまち三鷹を創る上で、財政基盤の安定は不可欠だ。外かく団体の改革や補助金の見直し等も含め、行財政改革が問

容積率引下げで人口抑制を

民主市民連合 高井 議員

議員 基本構想・第3次基本計画では、計画人口を最大で17万5千人、最終的には17万人程度に落ちつく想定されているが、国勢調査の人口は既に17万人を超えている。市内では最近大規模なマンション計画が増加し、至るところで紛争を起している。それによりかなり人口が増える可能性があり計画どおり本市の人口が動いていくか疑問だ。①公共施設配置計画への影響も懸念されるが、②市長の認識を問う③学校、学童保育所への影響を問う④保育園はどうするか⑤幼稚園全廃計画も見直すべきと考えるが市長の見解を問う⑥周辺道路等インフラ整備は必要ないか⑦今回の法改正を踏まえ、次回用途地域見直しの中で、住居地域の容積率を20%から15%に引き下げること考えるべきではないか。

子育て支援 施策を一層充実せよ

政新クラブ 田中 議員

議員 ①市内で病後児保育に対応する病院は1つあるだけだ。増設への考えを聞く②「子育てコミュニティ」の拠点拡大への考えを問う③待機児童問題の対応を聞く④いじめ、多発する犯罪等、子どもたちの精神の荒廃ぶりを嘆かわしく思う。正義感をばぐむ教育の一環で、⑤偉人伝を読む運動の市主催の偉人伝読書コンクール」を実施せよ⑥金銭感覚等を養うこと

は教育から外されてきたが、実社会では必要な素養だ。考えを聞く⑥改正が議論されている教育基本法への、⑦市長の教育観⑧の所見を問う⑨国際社会で日本だけの美学「沈黙は金」は通用しない。ディベートという科目を小学校から取り入れるべきだ⑩子ども議会を置き対応中の中学校長の意見を聞き、対応したい⑪武蔵野税務署の協力で実践教育を行った。今後も拡大したい⑫の動向を見守りたい⑬指摘の趣旨に沿って対応したい⑭基本的に意見発表会では対応するが、子ども議会は5年ごとで実施したい⑮積極的にやりたい。⑯その他の質問⑰情報都市・三鷹



子育てをしやすい環境に ……子ども家庭支援センターのびのびひろば